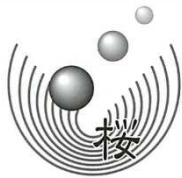


学校だより

練馬区立小中一貫教育校



# 大泉桜学園

第 125 号

令和 4 年 4 月 8 日

発行者 池田 和彦

<http://www.sakuragakuen.nerima-tky.ed.jp/>

## 新しい春の出発に向けて

校長 池田 和彦

桜は、古より多くの人々に愛され、その四季の移ろいの風情は、勇気と希望とうるおいをもたらしてきました。日本人の意識の中には、桜への愛着が組み込まれているようです。見事に咲き誇る桜に染まる大泉桜学園の校庭は、日本の春の象徴としてその美しさは格別です。

何事もないかの如く、いつもどおり満開の桜が上品な華やかさを醸し出す中で、昨年度に引き続き、日常生活において先の見えない不安と感染への心配な時間が長く続いています。一日も早く、日常が戻ってくることを願うばかりです。今後も感染状況により、教育活動の変更を余儀なくされることが多々あるかと思いますが、児童生徒の命と健康を守ることを最優先に考え、対応していきますのでご理解とご協力をお願いいたします。また、お子様のことでご心配のことなどがありましたら、ご遠慮なく、担任、養護教諭、副校長までご連絡いただきたいと思います。

保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。新1年生66名、新7年生85名を迎え、全校569名の児童生徒とともに、令和4年度がスタートしました。

本校の教育活動の推進に向けて、長年尽力いたしました教職員が異動となり、今年度新たな教職員を迎え、新しい春に新しい出発をいたします。教職員一同、開校以来、積み上げてきた本校の素晴らしい教育活動を継承するとともに、全力を尽くして、さらなる教育の推進を目指します。

### 目指す学校像

- A 「失敗しても挑戦できる、希望と粘り強さを学べる学校」 (ピンチはチャンス)
- B 「その日の授業で分からないことは、その日のうちに分かるまで教える学校」 (学力向上)
- C 「小中一貫教育9年間にふさわしいカリキュラム開発に取り組む研究熱心な学校」 (研究)
- D 「人権感覚を磨き、いじめを絶対に許さない学校」 (児童生徒会の活動促進)

子供たちはいかなる時代にあっても自分らしさを発揮し、さらに持続可能な開発・発展の社会の担い手になってほしいと願います。一人一人の子供たちは、無限の良さや可能性をもっています。それを最大限に引き出し、伸ばしていくことが学校に課せられた責務であり、児童生徒の「分かりたい、できるようになりたい、よりよく生きたい」という本質的な願いを真摯に受け取め、知・徳・体の調和のとれた子供に育てることが教職員の使命だと考えています。そして、すべての児童生徒が生き生きと主体的に学び、楽しく生活を送るとともに、保護者や地域の願いや期待に応えることができる学校にしたいと考えています。

子供たちの健やかな成長は、家庭と地域と学校が一体となって子供を見守るとともに、それぞれが責任を果たし、互いが協力・連携を図りながら育むことで実現できると思います。本年度も皆さま方の格段のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 取 り 組 む べ き 重 点1～8

### 1 異年齢集団の交流と学び合いを生かした教育活動の推進

- ◎入学式、卒業式などの儀式的行事や児童生徒会の主催行事、委員会活動、クラブ活動、部活動などを通して、異学年同士の学び合いを充実させる。
- ◎運動会、桜祭の清新・澁刺とした発表形態を工夫改善し、充実した取組とする。(5月、10月)
- ◎複数学年による縦割り遠足・飯盒炊さん・交流給食・ふれあい給食等の異学年の交流活動の充実を図る。
- ◎最高学年9年生を学校のリーダー像とした、のぞましい人間関係を醸成する。

### 2 指導方法の工夫・改善に努め、児童・生徒の能力の一層の伸張を目指す。

- ◎「命の教育」の一つの柱である「特別な教科 道徳」について小中一貫教育校の特色を生かした授業に取り組み、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
- ◎新学習指導要領の柱である「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向けて取り組んでいく。
- ◎学力の向上を図るために、タブレットを活用した授業を積極的に行うとともに、個別学習室を活用した補充学習、学習ボランティア等の取り組みを拡大する。
- ◎西校舎で5、6年生の50分授業・10分休みをサイクルとした学校生活の更なる充実を図る。
- ◎5、6学年における一部教科担任制の推進(社会・理科)並びに理科TTによる実験、算数少人数指導等の充実を図る。
- ◎地域人材、学校生活支援員等を活用し、児童生徒の生活支援及びその専門性を生かした教科指導、特別活動等も充実・発展を図る。
- ◎7年生を中心とした第Ⅱ期の指導内容の研究を推進する。(防災リーダー構想の継承発展)
- ◎新学習指導要領のねらいに基づき、自律的・協働的に学ぶ児童生徒の育成をめざした研究を行う。

### 3 日本の伝統・文化の理解を深め尊重する態度を育てる体験活動を充実させるとともに、「学校2020レガシー」の構築に向けた取組を行う。

- ◎「大泉桜の里」も活用し、命の教育やキャリア教育のシンボリックな存在として継承していく。
- ◎昔の遊び・百人一首・室町体験学習(墨絵・華道・茶道)・能・狂言教室・伝統工芸体験・修学旅行(奈良・京都方面)などの伝統文化教育の系統化を図る。
- ◎俳句づくり、百人一首・いろはかるたを活用し日本語の美しさやリズムを体感させ、語彙力を高め言語活動の充実と自国文化理解を促進する。
- ◎5、6年生からの部活動の活性化を図る。(5、6年の入部率の向上)
- ◎都立大泉特別支援学校との交流を継続しながら、障害者理解を本校の「学校2020レガシー」に位置付け、共生社会を生きていくための社会性を養う。

### 4 児童生徒理解と健全育成を推進する。

- ◎「当たり前」にやるべきことは、当たり前にする(「あいさつ」「身だしなみ」「時間厳守」「整理整頓」など)基本的な生活習慣の徹底及び豊かな情操と礼儀やマナーなど節度ある態度を育む。
- ◎新型コロナウイルス感染予防対策の徹底を図るとともに、状況に応じた教育活動の工夫改善に努める。
- ◎児童生徒会の活動を促進させ、いじめ根絶に向けた人権教育の充実に学校全体で取り組む。
- ◎危険を察知し状況に応じた的確に判断し行動できる児童・生徒の育成を目指した防災訓練の研究開発、及び町会、区防災課との連携、地域・家庭を支援・啓発した訓練を実施する。
- ◎学校応援団・青少年育成委員会・青少年委員等との連携強化を図る。
- ◎標準服の着用率を高め、望ましい帰属感や連帯感を育てる。
- ◎特別な支援を要する児童生徒理解と対応を図るために、定期的な校内委員会の充実を図る。

### 5 望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、自己の生き方を考えさせる。

- ◎キャリア・パスポートの実施に向けて、共通理解を図り、9年間の系統的な指導を重視した取り組みに努める。
- ◎「職場体験・防災リーダー・大泉桜の里」等を生かした9年間を通じたキャリア発達を支援する環境教育・食育・キャリア教育の充実を図る。
- ◎9年間を見通した大泉特別支援学校との交流教育の系統的なカリキュラムを作成し、活動の充実を図る。

### 6 小中一貫教育校としての研究成果を蓄積し、速やかに他機関等に提供できる体制を構築する。

- ◎練馬区教育課題指定校として、研究主題「9年間を通して、自律的・協働的な学び手を育む授業の創造」を研究主題として、新学習指導要領に即した授業研究を推進していく。

### 7 練馬区初の小中一貫教育校にふさわしい配当予算執行と施設設備の充実。

- ◎特色ある学校づくりを目指し、前年度踏襲にとらわれない配当予算の執行と費用対効果の検証を厳正に行う。

### 8 業務委託会社(給食・用務)との的確な連携による学校運営の充実。

- ◎的確に情報提供を行い、適正な運営の支援を行う。